資料１－２

令和3年度　健康推進課　主たる事業（実績見込）

母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、子どもの健やかな成長や保護者の育児を支援するため、引き続き母子保健事業を実施しました。

1　妊婦健康診査

妊娠の届出の窓口を子育て世代包括支援センターで対応し、保健師・助産師・看護師が面接して支援プランを作成し、必要に応じて妊娠期から訪問や電話相談等の支援を行いました。

また、14回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても償還払いによる県外助成を行いました。

●母子保健のしおり交付：母子手帳交付時の交付　168人(双胎1件)
転入妊婦等　4人

●1～14回妊婦検診受診者数：延べ2，076人

●県外助成：10人

2　家庭訪問

生後1～2か月の乳児がいる家庭へ、保健師、助産師、訪問員が全戸訪問を実施しました。育児相談や育児環境等を確認して保健指導を行い、産後うつの程度を確認するための「エジンバラ産後うつ質問票(EPDS)」等によりこころの状態を確認し、育児不安に対応しました。緊急事態宣言発令中は、資料配布と電話相談に切り替えて対応し、産婦・家族の希望や電話相談の様子から判断して、個別相談や訪問で対応を継続しました。

EPDS が高値の人や育児不安が強い人など、経過観察が必要な場合は保健師が継続訪問等で対応し、医療機関等と連携して産後ケアや受診等の支援を行いました。

●赤ちゃん訪問：195人（保健師訪問180人・訪問員訪問12人）、来所対応3人

●随時訪問（フォロー児）：24人

3　思春期保健事業

「赤ちゃんふれあい教室」のコロナ禍での再開は難しく、昨年度に引き続き、性感染症とメディアリテラシーを考える出前講座に加え、将来の健康づくりに向けたヒントを学ぶ「思春期健康づくり講座」のプレ実施を行いました。

●思春期出前講座

性感染症予防講座：12回　335人参加（中学３年生）

思春期健康づくり講座(プレ実施)：2 回　64人参加予定（中学２年生）